



真剣な表情でお守り作りに励む参加者。

大切な人に思いをこめて 絵手紙を始めてみませんか

5月27日(火)、30日(金)に女性センターにて絵手紙教室「絵手紙を始めてみませんか」が開催されました。参加者は、日本絵手紙協会公認講師の田賀清子氏の指導のもと、花やイチゴ、ラディッシュなど思い思いのモチーフを手に取り、よく観察しながら筆を動かしました。色付けに苦戦する場面も見られましたが、先生から「もっと大胆に塗っていいのよ」「ここに赤色を入れるともっと良くなるわ」など制作のポイントを教わり、すてきな作品が出来上がりました。

お父さんへ感謝の気持ちを込めて おしのクラフト「父の日のプレゼントづくり」

5月29日(木)に押野児童館で、父の日のプレゼントづくりが行われました。この日は、10組の親子が交通安全のお守り(写真左下)を作りました。まずは参加者が子どもの顔写真をカエルの台紙に貼り付けます。裏面にはメッセージを書き、ラミネート加工をして完成です。子どもが一生懸命にお父さんへのメッセージを書く様子も見られました。

このイベントをきっかけに参加者同士の会話がはずんでママ友になるなど、交流も深まったようでした。



先生のアドバイスで作品がぐっと引き締まります。



人権擁護委員と協力して、一つ一つ心を込めて植えます。

育てよう、思いやりの心 人権の花運動

市では人権擁護委員の協力のもと、児童が命を大切にし他者への思いやりの心を育むことを目的に「人権の花」を育てる運動を毎年実施しています。今年は6月4日(木)に人権擁護委員が富陽小学校を訪問し、3年生127人に対し人権についての話と紙芝居の朗読を行いました。トレニア・ペゴニア・ニチニチソウ・ポーチュラカの花苗をプランターに植え、人権の花運動の感想を聞かれた児童からは「人権という言葉を初めて知った。友達のことを大切にしたい」との声が聞かれました。



魔女から逃げるヘンゼルとグレーテルが客席に！観客も大興奮です。

童話の世界が目の前に！ ぬいぐるみミュージカル ヘンゼルとグレーテル

6月16日(月)、文化会館フォルテで劇団銀河鉄道のファミリーミュージカルが行われ、約500人が童話の世界を楽しみました。今回の演目『ヘンゼルとグレーテル』はグリム童話に収録されている、悪い魔女が出る森に迷いこんだきょうだいが知恵と勇気で危機を乗り越える物語です。劇が始まると客席から「食べちゃダメ！」「後ろー！」と声があがったり、舞台に向かって手を振ったり指をさしたりと、目の前で繰り広げられる童話の世界を心から楽しんでいるようでした。

まちの話題 Focus

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

日本の伝統文化に挑戦！！ こどもチャレンジ生け花展

6月14日(土)、15日(日)に学びの杜ののいちカレードでこどもチャレンジ生け花展が開催され、14日(土)は21人の市内小中学生が参加しました。今回はいろいろな行事の日を彩る花に挑戦。市華道協会の先生に教わりながら、ガーベラやデルフィニウムなどの6種類の花材を思い思いに生けていきます。花の向きや高さ、色などのバランスを考えながら完成させた作品は、同じ花材を使っても、まったく違った仕上がりになりました。参加した児童は「私はきれいなひし形になるようにした」「私はこの花が一番きれいに見えるようにした」など、こだわったポイントを話しながらそれぞれの作品を見比べていました。作品はその日の夕方までカレードに展示され、来場者を華やかに迎えていました。



①真剣な眼差しで花に向き合います。②完成した作品と一緒にパシャリ。③子どもたちの力作が来館者をお迎え。④⑤同時開催の市華道協会第31回花展では会員の洗練された作品が来場者を魅了しました。



参加者は、講師の松永直美氏の動きに合わせて体を動かしました。

ゆったり動いてリフレッシュ スローエアロビック教室

市スポーツセンターで、5月19日(月)～6月23日(月)の毎週月曜日にスローエアロビック教室が行われました。スローエアロビックは、ゆったりとしたリズムに合わせて体を動かすので、運動が苦手な人や体力に自信がない人にも取り組みやすい運動です。

5月26日(月)は、最初にストレッチで体をほぐし、その後は日本のポップスに合わせて心地良く全身を動かしました。28人の参加者は、程よく汗をかきリフレッシュした様子で運動を楽しんでいました。

日本の「國酒」をじっくり味わい、学ぶ 日本酒入門講座

5月24日(土)、にぎわいの里ののいちカミーノで日本酒入門講座が開催されました。講師の中村酒造(株)中村太郎氏による、お酒の基礎知識や石川県の日本酒の特徴などの講義のあと、日本酒の試飲が行われました。きき酒のポイントを教わり、純米酒「猩々」を含む日本酒4種類とおつまみ3種類のペアリングを楽しみました。参加者は「ペアリングの仕方が勉強になった。今まで以上に丁寧に日本酒が味わえそうだ」と日本酒の奥深さに驚いていました。



合わせる食材により、お酒の味わいも大きく変わります。